

SUISEI BUILD-EC

F☆☆☆☆

水性ビルデック

JIS K 5663 1種

艶消

3分艶

5分艶

7分艶

JIS K 5660

艶有

防かび・強膜アクリル樹脂系水性塗料

高隠ぺい性

高防かび性

**3Powers
UP**

強力ヤニ止め効果

幅広い適応性

優れた透湿性

優れた塗膜性能

微臭

つや・色調整可能

大日本塗料株式会社

水性塗料の イメージを大きく一新

Maintenance & Power

メンテナンス & パワー エマルジョン塗料

用途

建築物の内・外壁、軒天
コンクリート、モルタル、スレート板、木部、鉄部、
亜鉛めっき面、ビニールクロス面、その他各種ボード面など
※ビニールクロス面への塗装は水性ビルデック艶消のみ可能です。
※上記以外の用途に使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

容量

16kg・4kg

光沢

つや有り・7分つや・5分つや・3分つや・つや消し



ヤニ止め効果 溶剤系塗料レベルの効果を実現

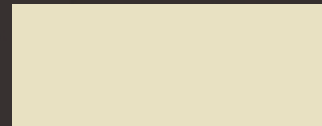
ヤニ止め効果について

- ・タバコのヤニはウエスなどで水拭きし、十分乾燥させて下さい。
- ・あまりにもひどい「ヤニ」「シミ」の場合は、下塗りにカチオンシーラーの「水性マイティーシミ止めシーラー」をご使用下さい。（より高い効果が得られます）

※ 軽レベルのヤニには対応できますが、すべてのヤニに対応できるわけではありません。

ヤニ止めの目安

下記 色相以内のヤニに対応します



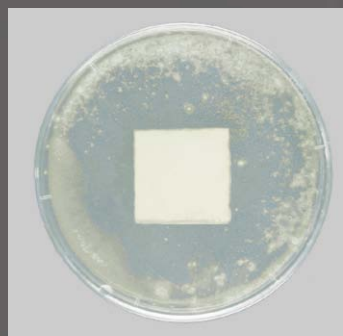
優れた透湿性



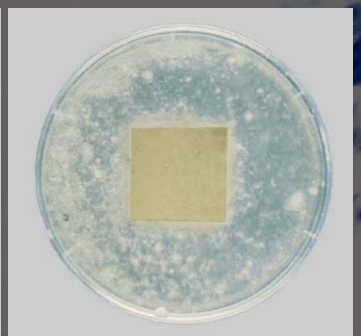
基材内部の水分を水蒸気の形で外部へ放散する呼吸形皮膜を形成、膨れやはがれを防止します。

防かび・防藻効果

かびや藻の発生を抑制し、建築物を保護します。



水性ビルデック
高性能の防かび剤を配合、アオカビや藻などの発生を防ぎます。



従来のエマルジョン塗料
試験片の上に茶色のかびが発生しています。

Maintenance & Power

優れた塗膜性能

水性塗料でありながら強靱な塗膜を形成し、優れた耐久性を発揮します。

微 臭

シンナーを使用しない水性塗料のため、塗装中や塗装後の臭いが気になりません。

幅広い適応性

屋内外はもちろん、溶剤系塗料しか対応できなかった、条件の厳しい場所にも使用できます。

こんな便利機能も！

現場で つや・色調整可能

艶有と艶消を混合し、お好みのつやに調整できます。マイティーカラー水、マイティーカラーゼロVOCで調色できます。

つや調整レシピ

例えば、このようなつやが作れます！

水性ビルデックのつや調整混合比率（重量比）

部位例		水性ビルデック艶有 白	水性ビルデック艶消 白
腰 壁 建 具 手すり	つや有り	100	0
	7分つや	90	10
	5分つや	80	20
	3分つや	60	40
天井・壁	つや消し	0	100

※比率は目安です。光沢の具合を確認しながら、混合して下さい。

基本性能

水性ビルデック7分艶・5分艶・3分艶・艶消 JIS K 5663 1種 合格 (試験結果)

項 目	試 験 条 件	水性ビルデック			
		7分艶	5分艶	3分艶	艶消
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合 格			
塗装作業性	2回塗りで、塗装作業に支障があつてはならない。	合 格			
低温安定性 (-5℃)	変質してはならない。	合 格			
乾燥時間	標準状態	1.5時間			
	5℃	3時間			
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合 格			
隠ぺい率% (白及び淡彩)	93以上	98			
耐水性	96時間浸したとき異常がないものとする。	合 格			
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないものとする。	合 格			
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えるものとする。	合 格			
促進耐候性	白亜化の等級は1以下で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合 格			
屋外暴露耐候性	12か月の試験で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合 格			

水性ビルデック艶有 JIS K 5660 合格 (試験結果)

項 目	試 験 条 件	水性ビルデック
		艶有
容器の中の状態	硬い塊がなくて一様になる。	合 格
塗装作業性	支障がない。	合 格
塗膜の外観	正常である。	合 格
低温安定性 (-5℃)	変質しない。	合 格
表面乾燥性	常温乾燥	1.5時間
	低温乾燥	3時間
隠ぺい率% (白及び淡彩)	95以上	98
鏡面光沢度 (60度)	70以上	75
耐水性	異常がない。	合 格
耐アルカリ性	異常がない。	合 格
耐洗浄性	洗浄に耐える。	合 格
耐湿潤冷熱繰返し性	湿潤冷熱繰返しに耐える。	合 格
促進耐候性	光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1又は0で、色の変化の程度が見本品に比べて差がない。	合 格
屋外暴露耐候性	白亜化の等級は2、1又は0で、割れ、はがれ、膨れ及び穴がなく、色とつやとの変化の程度が見本品に比べて差がない。	合 格

塗料性状

項 目		内 容		
容 姿		一液性		
荷 姿		16kg, 4kg		
色 相		白、各色		
光 沢		つや有り・7分つや・5分つや・3分つや・つや消し		
密 度 (23℃)	塗料 (白)	1.25～1.50*		
	揮発分	1.00		
粘 度 (23℃)		85～110KU		
加熱残分		50～65% (白・淡彩色)*		
乾 燥 時 間	温 度	5℃	20℃	30℃
	指 触	2時間	1時間	30分
	半硬化	4時間	2時間	1時間
引火点 (℃)		SDS参照		
発火点 (℃)		SDS参照		
爆発限界 (下限～上限)		SDS参照		
揮発性有機化合物 (TVOC)		1%未満		

上記、塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

*各つやの密度 (塗料 (白))、加熱残分の数値につきましては単品説明書 (DK SYSTEM) を参照下さい。

塗装基準

項 目		内 容		
塗り回数		2回		
希釈剤		水道水		
塗 装 法	塗装方法	刷毛、ローラー		エアレス ※1
	希釈率 ※2	5～15% ※2		10～20%
	標準使用量 ※3	0.12kg/m ² /回		0.14kg/m ² /回
	標準膜厚	20～30μm/回		
塗 装 間 隔	温 度	5℃	20℃	30℃
	最 小	6時間	3時間	2時間
	最 大	—	—	—
ホルムアルデヒド 放散等級		F☆☆☆☆		

※1 エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5~10%増やして下さい。

※2 濃彩色で粘度が低い場合は希釈率を下げて下さい。また、刷毛、ローラー使用時のつや消し希釈率は5~10%です。

※3 標準使用量は、実績値に基づき算出しています。
被塗物の形状や塗装方法、環境によって増減することがあります。

Maintenance & Power

標準塗装仕様

コンクリート、モルタル、スレート（内・外部）

塗り替え
仕様

工 程	商品名	塗り回数	色相	希釈率 (%)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下地調整	1.ゴミ、油脂などの付着物及び浮き塗膜をスクレーパー・ワイヤブラシやサンドペーパーなどで除去し、平滑にしたのちウエスなどで清拭する。 2.穴埋めが必要な場合、パテ・フィラーなどを用いて行う。						
2 上塗り	水性ビルデック 艶有～艶消	2回	各色	5～15	刷毛 ローラー	0.12	3時間以上

注) 下地及び旧塗膜の劣化が著しい場合は、下塗りに「水性マイティシーラーマルチ」をご使用下さい。

新設仕様

工 程	商品名	塗り回数	色相	希釈率 (%)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1 素地 ごしらえ	1.ゴミ、油脂などの付着物をスクレーパー・ワイヤブラシやサンドペーパーなどで平滑にしたのち、ウエスなどで清拭する。 2.穴埋めが必要な場合、パテ・フィラーなどを用いて行う。						
2 上塗り	水性ビルデック 艶有～艶消	2回	各色	5～15	刷毛 ローラー	0.12	3時間以上

注) ・コンクリートのアルカリ成分が強い場合や、吸込みが著しい箇所への塗装には下塗りに「水性マイティシーラーマルチ」をご使用下さい。

・シミ、ヤニが気になる箇所には下塗りに「水性マイティシーミ止めシーラー」を塗装して下さい。

・押出成形セメント板、GRC板へ塗装する場合は別途ご相談下さい。

鉄部、亜鉛めっき面（内部）

塗り替え
仕様

工 程	商品名	塗り回数	色相	希釈率 (%)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下地調整	1.さび（亜鉛めっきの鉄さび・白さびも含む）は、電動工具・手工具で除去する。 2.活膜部はサンドペーパー掛けを行った後、付着したほこり・ゴミなどをウエスなどで拭き取る。 3.油脂分はシンナーで拭き取る。						
2 下塗り	アロナEPO	1回	ホワイト 赤さび色 ライトグレー 淡彩色	0～10	刷毛 ローラー	0.13	2時間以上 1ヶ月以内
3 上塗り	水性ビルデック 艶有～艶消	2回	各色	5～15	刷毛 ローラー	0.12	3時間以上

注) 亜鉛めっき面への塗装は、必ず試験塗装を行い、付着性などを確認してから本施工に入して下さい。

新設仕様

工 程	商品名	塗り回数	色相	希釈率 (%)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1 素地 ごしらえ	1.さび（亜鉛めっきの鉄さび・白さびも含む）は、電動工具・手工具で除去する。 2.付着したほこり・ゴミなどをウエスなどで拭き取る。 3.油脂分はシンナーで拭き取る。						
2 下塗り	アロナEPO	1回	ホワイト 赤さび色 ライトグレー 淡彩色	0～10	刷毛 ローラー	0.13	2時間以上 1ヶ月以内
3 上塗り	水性ビルデック 艶有～艶消	2回	各色	5～15	刷毛 ローラー	0.12	3時間以上

注) 亜鉛めっき面への塗装は、必ず試験塗装を行い、付着性などを確認してから本施工に入して下さい。

※濃彩色で粘度が低いものについては、希釈率を0～5%で塗装して下さい。

※上記に記載されていない部材については、弊社までお問い合わせ下さい。

※数字はすべて標準値です。被塗物の形状・種類・下地の状態によっては大きく変わる場合があります。

また、仕上りの光沢によっても、多少増減することがあります。

（特に旧塗膜が粗面の場合は、塗付量が大幅に増える場合がありますので、予め試し塗りなどで確かめて下さい。）

木 部

塗り替え 仕様

工 程		商品名	塗り回数	色相	希釈率 (%)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1	下地調整	1.木部を傷付けないように汚れ、付着物を除去する。油類は溶剤などで拭き取る。 2.ヤニは、削り取り又は電気ごて焼きのうえ、溶剤などで拭き取る。 3.研磨紙 (P120～220) を用いて旧塗膜を全面目粗し、かんな目・逆目・けばなどを除去する。						
2	下塗り	水性マイティーシーラーマルチ	1回	透明なブルー またはクリアー	0 (うすめないで下さい)	刷毛 ローラー	0.11	2時間以上 1ヶ月以内
3	上塗り	水性ビルデック 艶有～艶消	2回	各色	5～15	刷毛 ローラー	0.12	3時間以上

新設仕様

工 程		商品名	塗り回数	色相	希釈率 (%)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1	素地 ごしらえ	1.木部を傷付けないように汚れ、付着物を除去する。油類は溶剤などで拭き取る。 2.ヤニは、削り取り又は電気ごて焼きのうえ、溶剤などで拭き取る。 3.研磨紙 (P120～220) を用いて、かんな目・逆目・けばなどを研磨する。						
2	下塗り	水性マイティーシーラーマルチ	1回	透明なブルー またはクリアー	0 (うすめないで下さい)	刷毛 ローラー	0.11	2時間以上 1ヶ月以内
3	上塗り	水性ビルデック 艶有～艶消	2回	各色	5～15	刷毛 ローラー	0.12	3時間以上

コンクリート・モルタル

● 吹付タイル模様仕上げ (新設／平滑仕上げをタイル模様に塗り替え)

新設仕様 塗り替え 仕様

工 程		商品名	塗り回数	色相	希釈率 (%)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)	
1	新設	素地 ごしらえ	1.含水率10%以下、pH10以下とする。 2.サンドペーパー、電動工具などの適切な工具を用いて汚れ、脆弱な層（塗り替え時は劣化塗膜を含む）、その他有害な付着物を除去する。 3.ブラシ・ホウキなどを用いて汚れ、その他有害な付着物を取り除き、清浄な面とする。						
	塗り替え	下地調整							
2	下塗り		水性マイティーシーラーマルチ	1回	透明なブルー またはクリアー	0 (うすめないで下さい)	刷毛 ローラー スプレー	0.11～0.13	2時間以上 1ヶ月以内
3	模様吹き		DNTタイルアクリルベース	1回	白系	0～2	タイルガン	0.80～1.50	24時間以上 1ヶ月以内
4	上塗り		水性ビルデック 艶有	2回	各色	5～15 5～15 10～20	刷毛 ローラー スプレー	0.12～0.14	3時間以上

● 平滑仕上げ (新設・塗り替え) ／タイル模様仕上げの上塗りだけを塗り替え

新設仕様 塗り替え 仕様

工 程			商品名	塗り回数	色相	希釈率 (%)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1	新設	素地 ごしらえ	1.含水率10%以下、pH10以下とする。 2.サンドペーパー、電動工具などの適切な工具を用いて汚れ、脆弱な層（塗り替え時は劣化塗膜を含む）、その他有害な付着物を除去する。 3.ブラシ・ホウキなどを用いて汚れ、その他有害な付着物を取り除き、清浄な面とする。						
	塗り替え	下地調整							
2	下塗り	水性マイティーシーラーマルチ	いずれか を1回	透明なブルー またはクリアー	0 (うすめないで下さい)	刷毛 ローラー スプレー	0.11～0.13	2時間以上 1ヶ月以内	
		DNT弾性フィラー ー液テクトMAX		白系	5～10 1～3 3～6	中毛ローラー 多孔質ローラー リシンガン	0.30～0.50 0.80～1.50 0.70～1.20	8時間以上 7日以内	
3	上塗り	水性ビルデック 艶有	2回	各色	5～15 5～15 10～20	刷毛 ローラー スプレー	0.12～0.14	3時間以上	

※濃彩色で粘度が低いものについては、希釈率を0～5%で塗装して下さい。

※上記に記載されていない部材については、弊社までお問い合わせ下さい。

※数字はすべて標準値です。被塗物の形状・種類・下地の状態によっては大きく変わる場合があります。

また、仕上りの光沢によっても、多少増減することがあります。

(特に旧塗膜が粗面の場合は、塗付量が大幅に増える場合がありますので、
予め試し塗りなどで確かめて下さい。)

施工上の注意

- 開缶後は、よくかき混ぜて均一な状態にしてからご使用下さい。
- 保管上引火の心配はありませんが、極端な高温（50℃以上）での保管は避けて下さい。
- 凍結により変質するおそれがありますので、低温（0℃以下）での保管は避けて下さい。
- 屋外での貯蔵は、避けて下さい。
- 塗装終了後、刷毛などの用具は早めに洗って下さい。固着した場合はラッカーシンナーで洗浄して下さい。
- 新しいモルタルやコンクリート面の養生は十分に行ってください。含水率10%、pH10以下で塗装して下さい。（コンクリートで20日以上、モルタルで15日以上経過が目安です。）
- 塗装場所での気温が5℃以下、湿度85%以上で結露のおそれがある場所、また換気の悪い場所での塗装は避けて下さい。
- 降雨や降雪、結露のおそれがある場合は、塗装を避けて下さい。
- エマルジョン塗料以外の塗膜面に塗装する場合は、事前に付着性を確認して下さい。
- 旧塗膜がつや有り仕上げの場合、条件によっては割れが発生するおそれがありますので、あらかじめ試し塗りなどで確かめて下さい。
- 水系塗料においてウエスなどで強く擦ると、色が付着する場合がありますので、強く擦られるおそれが予測される場所への塗装はできるだけ避けて下さい。
- 塗装面に物を長期間置く場合、塗膜が付着する場合がありますのでご注意ください。
- 常時結露又は水がかかることが予想される場所、部位への塗装は避けて下さい。
- 著しい結露が発生した場合、塗料中の水溶成分が表面に溶出する場合があります。著しい結露が予測される場合は溶剤系塗料での塗装を推奨します。

- 油污れが著しい場合は、はがれ・割れの原因になることがありますので、中性洗剤などで十分に油分を除去してから塗装して下さい。
- 飛散防止のため養生は十分に行ってください。
- 希釈は指定された希釈剤をご使用下さい。また希釈し過ぎないようにご注意ください。希釈し過ぎた場合、ダレや隠ぺい不良、仕上がり不良などの原因になります。
- 塗装方法として刷毛とローラーが混在する場合は塗分量、仕上がり肌が異なり、若干の色相差がでますので刷毛塗りの部分は希釈を少なめで塗装して下さい。
- 塗装後、1日以内に雨や結露などの影響を受けると白化・シミが残る事があります。万一生じた場合は塗り重ねして下さい。
- コンクリート・モルタル面で旧塗膜の劣化が著しい場合や吸込みの著しい面には、下塗りに「水性マイティーシーラーマルチ」を塗装して下さい。
- 藻・かびがある場合は、あらかじめ5%次亜塩素酸ソーダ水で殺菌処理後、水洗いを行い、十分に乾燥させてから塗装して下さい。
- たばこのヤニやシミの多い箇所はあらかじめウエスなどで水拭きし、被塗面を十分に乾燥させてから下塗りに「水性マイティーシミ止めシーラー」を塗装して下さい。
- 20℃前後で1時間以内に乾燥しますが、塗り重ねは3時間以上おいて下さい。冬期や寒冷地ではさらに長くおく必要があります。
- 汚れや傷などで塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取っておき同一塗料、同一方法で補修塗装を行ってください。
- 塗膜性能を十分に発揮させるためにも、塗分量を守ってください。

使用上の注意

取扱いには下記の注意事項を守って下さい。
※詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

- 取扱上の注意
 1. 取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
 2. よくフタをし、一定の場所に貯蔵して下さい。
 3. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
 4. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
 5. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。
- 緊急時の処置
 1. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 2. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 3. 容器からこぼれた時には、砂等を散布したのち処理して下さい。

①

※本カタログに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。
※本製品の内容は予告なく変更することがあります。

DNT 大日本塗料株式会社

●東日本販売部

東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所 ☎022-236-1020 ☎983-0034 仙台市宮城野区扇町5-6-20
北関東営業所 ☎0285-24-0123 ☎323-0025 小山市城山町2-10-14 (日光堂ビル)
埼玉営業所 ☎048-601-0711 ☎330-0843 さいたま市大宮区吉敷町4-261-1
新潟営業所 ☎025-244-7890 ☎950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-54 (日生南笹口ビル)
千葉営業所 ☎043-225-1721 ☎260-0015 千葉市中央区富士見2-7-5 (富士見ハイネスビル)
神奈川営業所 ☎042-786-1831 ☎252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7 (トラスト・テック相模原ビル)
静岡営業所 ☎054-254-5341 ☎420-0857 静岡市葵区御幸町8 (静岡三菱ビル)

●西日本販売部

大阪営業所 ☎06-6466-6618 ☎554-0012 大阪市此花区西九条6-1-124
名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
富山営業所 ☎076-451-9470 ☎930-0997 富山市新庄北町5-1
京滋営業所 ☎075-595-7761 ☎607-8085 京都市山科区竹鼻堂ノ前町46-1 (三井生命京都山科ビル)
神戸営業所 ☎078-362-0091 ☎650-0025 神戸市中央区相生町1-2-1 (東成ビル)
岡山営業所 ☎086-255-0151 ☎700-0034 岡山市北区高柳東町13-5
広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
高松営業所 ☎087-869-2585 ☎761-8075 高松市多肥下町1511-1 (サンフラワー通り東ビルビル)
福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5
長崎営業所 ☎095-824-3457 ☎850-0033 長崎市万才町3-4 (長崎ビル)

塗料相談室 フリーダイヤル 0120-98-1716 <http://www.dnt.co.jp/>